

アビスパ福岡株式会社について

令和8年6月

目 次

I 法人の概要	・ ・ ・ ・ 1
1 法人の概要	
2 組織	
II 事業報告	・ ・ ・ ・ 3
III 決 算	・ ・ ・ ・ 4
1 損益計算書	
2 株主資本等変動計算書	
3 貸借対照表	
IV 事業計画（方針）	・ ・ ・ ・ 7
V 経営状況を説明する書類に準じた書類について	・ ・ ・ ・ 8

I 法人の概要

1 法人の概要

(1) 法人名 アビスパ福岡株式会社

(2) 主要な事業内容

サッカーの興行、サッカースクールの運営、サッカー指導者の育成及び

プロサッカーチームに関する各種オリジナルグッズの販売

(3) 設 立 平成6年9月29日

(4) 資本金 539,197千円 (令和8年1月31日現在)

(5) 本市出資の目的

Jリーグの地域に根ざしたホームタウン制により、本市のスポーツ文化

の振興、青少年の育成及び地域経済の活性化を目的として出資

2 組織

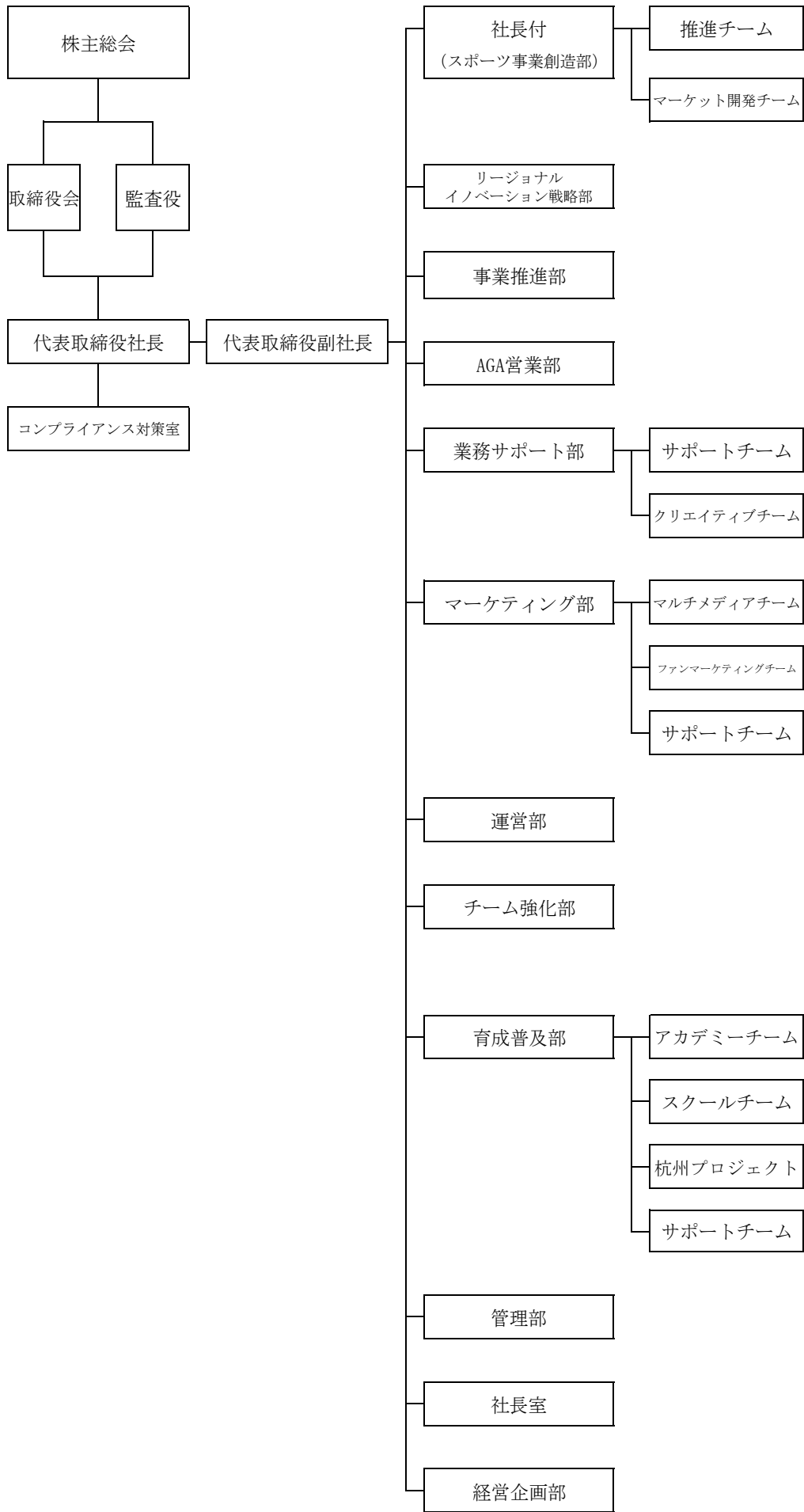
(1) 役員名簿

(令和8年4月23日現在)

役 職	氏 名	備 考
代表取締役社長	西 野 努	
代表取締役副社長	山 口 均	
取 締 役	川 森 敬 史	Apaman Leasing 株式会社 代表取締役
取 締 役	立 石 敬 之	シント＝トロイデン VV CEO
取 締 役	吉 尾 春 樹	株式会社システムソフト 代表取締役会長
取 締 役	後 藤 研 二	株式会社Mirai Nihon Ventures 代表取締役社長
取 締 役	廣 塚 浩 一 郎	株式会社エイジェックグループ 執行役員 九州支社 支社長
取 締 役	柴 田 亮 二	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 ベンディング九州／中四国事業統括本部 九州地区統括部長
取 締 役	河 津 真 樹 子	福岡市 市民局 理事
取 締 役	樋 口 和 光	九州電力株式会社 常務執行役員 ビジネスソリューション統括本部 地域共生本部長
取 締 役	堺 成 司	株式会社西日本新聞社 論説委員長
取 締 役	恒 松 孝 二	株式会社クラフティア 執行役員
取 締 役	川 原 武 浩	株式会社ふくや 代表取締役社長
取 締 役	村 中 悠 介	合同会社 DMM.com COO 合同会社 EXNOA (DMM GAMES) CEO
取 締 役	渡 邊 誠	株式会社プロスタッフ 代表取締役 渡邊誠公認会計士事務所 公認会計士
監 査 役	恒 吉 勇 志	株式会社ふくおかフィナンシャルグループ 経営企画部付部長 兼 株式会社福岡銀行 総合企画部付部長
監 査 役	滝 本 英 明	株式会社西日本シティ銀行 執行役員 総務部長

(2) 組織図

(令和8年4月23日現在)



Ⅱ 事業報告（令和7年2月1日から令和8年1月31日まで）

2025シーズン、地元福岡の経済界・自治体及びアビスパ・グローバル・アソシエイツ（AGA）よりクラブ経営全般に及ぶ継続的な支援があり、今期のスポンサー社数は、前期の932社から149社増加し1,081社となった。

入場者数については、1試合当たりの平均入場者数が前期9,698人から今期10,031人へ増加し、年間入場者数は19万4千人となった。

グッズ収入については、30周年記念のオーセンティックユニフォームの販売が堅調に推移したことで、前期2億7千3百万円から今期2億9千5百万円と増加し、5期連続で最高額を更新した。

チームについては、5年目のJ1リーグに臨んだ結果、12位でシーズンを終えた。

育成普及部門のアカデミーについては、選手の健全な育成と安全を念頭に置き、各年代の大会優勝を目指して日々のトレーニングや海外遠征を積み重ね、昇格したU-18のプレミアリーグでも一年を戦い抜き残留を果たした。また年代別の日本代表及び候補に数名が選出され、トップチームへの昇格者を2名輩出した。スクールについては、前期のスクール生徒人数1,254人から今期1,213人に減少したが、チアスクールを含め全23校で地域に密着した事業運営に取り組んだ。

ホームタウン推進活動については、年間延べ2万人を超える方々に参加いただいております。コーチ派遣型の「アビススクール」のほか、ブラインドサッカー啓発活動や福岡都市圏と協働し健康教室等に取り組むとともに、フレンドリータウンは20の自治体と協定を締結する等、当クラブの経営理念である「子どもたちに夢と感動を」「地域に誇りと活力を」の実践を続けている。

こうした活動により、今期の売上高は、広告収入15億5千1百万円（対前期比49%増）、入場料収入6億8千7百万円（対前期比2%減）、その他の収入を加え、合計37億4千万円（対前期比23%増）となった。営業費用は、33億8千7百万円（対前期比12%増）となり、営業利益は3億5千2百万円、経常利益は3億4千6百万円、当期純利益は1億5千4百万円となった。

来期は秋春制移行のシーズンとなるが、サービス品質の向上と社会連携活動を軸に、広告収入、入場料収入をはじめ全事業増収に向けた取組みを継続し、クラブの経営安定化を図るとともに、J1上位を目指したチームづくりに取り組む。また、U-12からトップチームに至るまで「感動と勝ちにこだわる」AviSPA Styleを引き続き構築していく。

Ⅲ 決算

1 損益計算書（令和7年2月1日から令和8年1月31日まで）

（単位 千円）

科 目	金	額
売 上 高		3,740,285
売 上 原 価		3,031,229
売 上 総 利 益		709,056
販売費及び一般管理費		356,629
営 業 利 益		352,426
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	155	155
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	4,823	
為 替 差 損	881	5,705
経 常 利 益		346,876
特 別 損 失		
そ の 他 特 別 損 失	162,768	162,768
税 引 前 当 期 利 益		184,108
法人税、住民税及び事業税		30,099
当 期 純 利 益		154,008

※記載金額が千円未満非表示のため合計額が合わない場合がある。

2 株主資本等変動計算書（令和7年2月1日から令和8年1月31日まで）

（単位 千円）

	株 主 資 本				株主資本合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	その他利益剰余金		
				繰越利益剰余金		
前期末残高	442,309	351,319	161,760	△1,227,083	△271,693	△271,693
当期変動額						
増資	96,888	96,888			193,776	193,776
当期純利益				154,008	154,008	154,008
当期変動額合計	96,888	96,888		154,008	347,784	347,784
当期末残高	539,197	448,207	161,760	△1,073,074	76,091	76,091

※記載金額が千円未満非表示のため合計額が合わない場合がある。

3 貸借対照表（令和8年1月31日現在）

（単位 千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	727,440	流動負債	993,898
現金預金	171,803	一年内返済長期借入金	36,640
売掛金	461,131	リース債務	958
商品	31,595	未払金	184,378
仕掛品	14,982	未払費用	106
前払費用	36,642	未払法人税等	34,896
その他	11,277	預り金	69,239
		前受収益	650,100
		その他	17,579
固定資産	409,269	固定負債	66,720
有形固定資産	191,487	長期借入金	65,620
建物	195,635	その他	1,100
建物附属設備	93,021		
構築物	35,877	負債合計	1,060,618
機械装置	760		
工具器具備品	91,624	(純資産の部)	
土地	100,000	株主資本	76,091
リース資産	14,161	資本金	539,197
減価償却累計額	△339,592	資本剰余金	
投資その他の資産	217,782	資本準備金	448,207
出資金	10	その他資本剰余金	161,760
長期前払費用	217,438	利益剰余金	
その他	334	その他利益剰余金	
		繰越利益剰余金	△1,073,074
		純資産合計	76,091
資産合計	1,136,710	負債及び純資産合計	1,136,710

※記載金額が千円未満非表示のため合計額が合わない場合がある。

IV 事業計画（方針）

アビスパ福岡は、「子どもたちに夢と感動を」「地域に誇りと活力を」を基本理念とし、ホームタウン活動などを通じて、地域に根差した市民クラブを目指している。

今期は、クラブの経営の安定と、チームのさらなる上位を目指した体制づくりに加え、アカデミーサポート体制の強化及びスクール育成指導の質的向上を図るなど、市民クラブとして地域への奉仕と満足してもらえるサービスの提供にさらに努めていく。

また、クラブで発生したコンプライアンス事案を踏まえ、社内の体制づくりや再発防止への対策に努めるとともに、クラブへ寄せられる様々な提案等を考慮しながら、来場者が快適に過ごせるスタジアム運営や、来場者数の増加に向けた各種施策に取り組んでいく。

今後も、ホームタウン活動を継続し、多くの方と関わりながら、アビスパ福岡が真の市民クラブとして、多くの市民に愛され、地域の誇りとなるよう、活動していく。

V 経営状況を説明する書類に準じた書類について

アビスパ福岡株式会社は、今期において増資を行ったこと等により、期末の福岡市の出資比率は2.5%となり、経営状況を説明する書類に準じた書類の提出対象である3%（出資比率3%以上25%未満の株式会社）を下回っているが、期首は3%以上であったため今期分まで提出するもの。